

# 平成18年度 学校心臓検診集計結果報告書

静岡県医師会学校保健対策委員会  
学校心臓検診専門委員会

委員長	原	正	守	(静岡県医師会)
委員	上田	憲	憲	(静岡市静岡医師会)
	表	信	吾	(静岡市静岡医師会)
	大川	雅	龍	(榛原医師会)
	井上	康	夫	(浜松市医師会)
	宇佐美	等	等	(沼津市立病院)
	田中	靖	彦	(県立こども病院)

# 平成18年度の学校心臓検診集計に寄せて

平成18年度の学校心臓検診の集計がまとまりましたのでご報告いたします。いつもながら面倒な集計作業に快くご協力くださった学校長・養護教諭の諸先生、県および市町村教育委員会、郡市医師会ならびに関係の諸先生方に深く感謝申し上げます。また精検・追跡調査表の記載に貴重な時間をとってご協力いただいた精密検査担当医療機関の先生方にも厚く御礼申し上げます。

静岡県では、心電図による学校心臓検診は30年前頃から実施され始め、県全体の集計はその10年後頃からは行ってまいりました。集計を始めた初期には検診結果の判定基準が統一されておらず混乱もありましたが、日本学校保健会から『心疾患児童管理指導のしおり（学校・校医用）』が昭和62年に発行され、当県の学校心臓検診の判断基準もこれに統一されるようになり、検診の精度も飛躍的に高まって参りました。

また、平成14年度には学習指導要領が変更になり、「学校生活管理指導表」も一新されました。しおりも改定され『心疾患児 新・学校生活管理指導のしおり』になりました。これを機会に、本集計も毎年の検診でどのような疾患（所見）が発見され、どのように管理されたかを集計することとし、ご報告してまいりました。以下に、本年度の集計結果に関するコメントを述べさせていただきます。

なお、小学校4年生については未だ全県下で実施されていないため、参考データとして集計したものであり、コメントの対象にはなっていません。

総受診率は99.8%と例年どおり良好でした。要精検者は受診者の3.1%で、要精検者のうち実際に精密検査を受けているのは89.5%と、3年前から2%減少した一昨年よりさらに3.5%減少しており、未受診者が298人に達します。うち172人は既に医療機関で経過観察が行われているので、病状が軽く2～3年に一回の受診間隔となっていて、入学年度にたまたま指導表の提出がなく未受診扱いになったのかも知れません。ただし、本来は進学した入学年度には指導表の提出が必要と思われます。残りの126人は精密検査を受けていないと考えられ、児童たちの管理が学校でどうなっているのか心配です。学校管理下の事故を避けるためにも、管理漏れは極力なくしていく努力が必要と考えられます。

要管理者総数は800人で一次検診受診者数の0.87%でほぼ例年どおりの比率でした。

I. 器質異常のうち先天性心疾患の新規発見総数は26人です。8人が心房中隔欠損症（ASD）ですが、5人の小学生に加えて今年は中学生2人と高校生1人が発見されています。不完全右脚ブロック所見がある場合は、精密検診でASDのチェックが大切ですが、心雑音をはっきりしないなど聴診所見が非典型的な場合もあるので、一度はエコー検査で確認しておくことが望まれます。その他にも小1では心室中隔欠損3人、動脈管開存1人、肺動脈弁狭窄1人など、中1では心室中隔欠損2人などが発見されています。また、心筋症は新規の肥大型2人を合せて合計7人（うち1人が拡張型）で昨年と同数でした。突然死につながる可能性があり、常に注意すべき疾患と考えられます。

II. 心電図・心音図異常で多いものは例年どおり心室性期外収縮です。単源性の251人はまず問題のないものですが、多源性連発等15人、心室頻拍症3人に関しては注意が必要です。

1度、2度の房室ブロックによる要管理者が32人（小1：1、中1：13、高1：18）と相変わらず多いのですが、運動負荷でPRが正常化すれば本来管理不要のものです。とくに2度ブロックのWenckbach型で、PRが運動負荷により正常化されていても相変わらず要管理とされるものが多く、不必要な要管理者を増やす原因になっています。単源性上室性期外収縮での要管理者45人（小1：7、中1：14、高1：24）も本来は管理不要と考えられます。右脚ブロックも43人（小1：21、中1：10、高1：12）が管理されていますが、エコー検査で心疾患が否定されれば、ほとんどの例で管理不要と思われます。

Ⅲ. 既往異常では全員が川崎病の既往でした。本年の要管理者126人は一昨年の99人に比べてかなりの増加となりました。ただし中学生では15人、高校生では5人と少数なので、川崎病の発症が多かった年の余波かもしれません。川崎病研究会編「川崎病の管理基準」に基づいて、5年を経過した既往者の管理は確実に解除されているようです。

医療機関での精密検診では器質異常の場合は心エコー、不整脈の場合は運動負荷テストを用いての判断が是非必要です。先天性心疾患や心筋症、危険な不整脈が見逃されることはなんとしても避けなければなりません。不必要な管理もあってはならないと考えられます。内科や循環器科を体調不良で受診し検査を受けた成人の場合は、半年や1年後に念のため再診させることは一般的なことと思いますが、同様な感覚で生徒を要管理者とすることは避けていただきたいものです。学校生活の場で運動を禁止されるE禁以上の管理は学童にとって大変なショックであり、E可でクラブ活動が許可されていても、管理が必要と指示されることだけで本人およびご家族には大きなストレスとなります。

学年があがるにつれて不必要な管理者が多くなる傾向にあります。精密検診を指示された中高生の多くが内科医を受診することに起因するようにも思われます。内科や循環器科は、小児科に比べて病院勤務医の交代や新規開業が頻繁で、精密検診を行うに当たり学校心臓検診を理解されていない先生方が多いようです。したがって、学校心臓検診の趣旨を検診に関わる医師全員にご理解していただくことがなかなか困難ですが、新しくなった『しおり』の管理基準の理解がさらに深まり、心臓検診の質がより向上していくことを願ってやみません。

なお本年度もしおりの管理基準と合致しないケースについては、心臓検診委員会で検討し再調査をさせていただきました。再調査対象件数は188件で、そのうち変更なし59件、未回答27件、その他2件、管理区分の変更は93件でした。93件のうちE可から不要が79件、DからE可が4件、E禁からE可が4件、その他2件で管理が軽減され、これに対して不要からE可が4件でした。再調査件数および管理区分の変更件数が依然として増加傾向ですが、来年度には是非減少に転じて欲しいと思っております。また、再調査の際には『しおり』を同封していますので、学童心臓検診の趣旨と管理基準をご理解いただき、その上でご返答していただきますようお願いいたします。

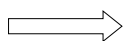
なお管理区分変更の内容については「別表」(次頁)を参照してください。

静岡県医師会学校保健対策委員会  
「学校心臓検診専門委員会」

(別表)

## 平成18年度学校心臓検診「再調査」による管理区分の変更について

○再調査対象件数 188件



① 管理区分の変更あり	93
② 管理区分の変更なし	59
③ 未回答 (担当医異動等により返送されたものを含む)	27
④ その他	9
計	188

○管理区分変更あり (93件) の内訳

### 1. E可→管理不要 79件

所見名	件数
右脚ブロック	18
上室性期外収縮	11
川崎病	10
左心室肥大	7
Ⅱ°房室ブロック	10
Ⅰ°房室ブロック	5
右軸偏位	4
異常Q波	2
異常軸偏位・不完全右脚ブロック	1
房室解離	1
別紙	1
不明	1
不定軸	1
内臓逆位・右胸心	1
洞性頻脈	1
洞性徐脈	1
洞停止・房室解離	1
低電位	1
三尖弁閉鎖不全	1
右心室肥大 (疑い)	1
計	79

### 2. D→E可 4件

所見名	件数
心室性期外収縮	4

### 3. E禁→E可 4件

所見名	件数
心室性期外収縮	3
Ⅱ°房室ブロック	1

### 4. 管理不要→E可 4件

所見名	件数
心室性期外収縮	4

### 5. 不明・経過観察→管理不要 2件

所見名	件数
不明、経過観察	2

## 平成18年度 学校心臓検診集計結果の概略

区分	在籍者数	一次検診受診者数	内、要精密検査者数	要精密検査者数の内訳							一次検診未受診者数の内訳		
				精密検査受診者数の内訳			精密検査未受診者数の内訳				一次検診未受診者数の内訳		
				精密検査受診者総数	管理区分の内訳			精密検査未受診者総数	内訳		一次検診未受診者総数	内訳	
				①要管理	②管理不要	③その他		①主治医受診	②その他		①主治医受診	②その他	
小学校1年生	35,380	35,347	924	784	301	480	3	140	101	39	33	1	32
中学校1年生	34,411	34,285	1,029	915	302	603	10	114	52	62	126	1	125
高等学校1年生	22,885	22,837	886	842	197	641	4	44	19	25	48	1	47
計	92,676	92,469	2,839	2,541	800	1,724	17	298	172	126	207	3	204
小学校4年生	27,410	27,383	678	600	233	366	1	87	43	44	27	1	26

注) 小学校4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下全ての小学生の検診結果を示すものではありませんのでご注意ください。

## 小学校1年生

注) 管理区分の「A」「B」および「C」に該当する児童の報告はありませんでした。

管理区分	項目	C			D			E 禁			E 可			小計			合計	
		既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規					
		術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未					
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)				1					9	10	5	9	11	5	25		
	心室中隔欠損症 (VSD)			1				2	1			32	26	3	35	27	3	65
	動脈管開存症 (PDA)												4	1		4	1	5
	ファロー四徴症 (TF)											2			2			2
	肺動脈弁狭窄症 (PS)							1			2	10	1	3	10	1	14	
	その他の先天性心疾患			4				10		1	14	13	5	28	13	6	47	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)											4	4		4	4	8	
	心筋症-①肥大型 (HCM)																	
	心筋症-②拡張型 (DCM)																	
	川崎病後遺症																	
	その他の器質異常							1		1	2	2		3	2	1	6	
	器質異常 小計①				5	1		14	1	2	61	69	19	80	71	21	172	
	心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位									1	1		1	1		2	
左軸偏位												6			6	6		
P波の異常																		
右心室肥大 (RVH)																		
左心室肥大 (LVH)												4			4	4		
洞房ブロック																		
I° 房室ブロック																		
II° 房室ブロック												1			1	1		
III° 房室ブロック																		
房室解離								1						1		1		
右脚ブロック					1				1		6	2	11	7	3	11	21	
左脚ブロック (LBBB)																		
PQ短縮 (WPW等)													30		30	30		
QT延長													7		7	7		
異常Q波									1				1		2	2		
ST・Tの異常													1		1	1		
上室性期外収縮 (①単源性)									1				6	1	6	7		
上室性期外収縮 (②多源性・連発等)													2		2	2		
心室性期外収縮 (①単源性)												7	72	7	72	79		
心室性期外収縮 (②多源性・連発等)													2		2	2		
上室性頻拍症 (SVT)																		
心室性頻拍症 (VT)																		
その他の心電図異常				1						1	1	1	2	1	1	4		
心音図異常																		
心電図・心音図異常 小計②				2			1	2	1	8	12	143	11	14	144	169		
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)							1		1	103	1	1	104	1	106		
	検診等で異常追跡中																	
	心疾患で経過観察中											1			1	1		
	その他										1			1		1		
既往異常 小計③							1		1	104	2	1	105	2	108			
家 族 歴												3			3	3		
総 計 A (①+②+③)				7	1		15	4	3	70	185	167	92	190	170	452		
重複所見調整 B				3			2	1		12	10	21	17	11	21	49		
要管理者実人数 (A-B)				4	1		13	3	3	58	175	146	75	179	149	403		
管理区分別合計				0		5			19			379			403			

## 中学校1年生

注) 管理区分の「A」「B」に該当する生徒の報告はありませんでした。

	管理区分 項目	C			D			E 禁			E 可			小計			合計
		既 術後	往 未	新 規	既 術後	往 未	新 規	既 術後	往 未	新 規	既 術後	往 未	新 規	既 術後	往 未	新 規	
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)							1			6	5	2	7	5	2	14
	心室中隔欠損症 (VSD)	1			1			1			20	23	2	23	23	2	48
	動脈管開存症 (PDA)																
	ファロー四徴症 (TF)				1			1			4			6			6
	肺動脈弁狭窄症 (PS)										4	5		4	5		9
	その他の先天性心疾患	1			7			6			13	11	4	27	11	4	42
	僧帽弁逸脱症 (MVP)											4	2		4	2	6
	心筋症-①肥大型 (HCM)		1			1							1		2	1	3
	心筋症-②拡張型 (DCM)					1									1		1
	川崎病後遺症					1									1		1
	その他の器質異常				1			1			1	2	5	2	3	5	10
	器質異常 小計①	2	1		10	3		9	1		48	50	16	69	55	16	140
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位																
	左軸偏位											1				1	1
	P波の異常							1			1			2			2
	右心室肥大 (RVH)																
	左心室肥大 (LVH)											6			6		6
	洞房ブロック							1						1			1
	I° 房室ブロック				1						1	1	1	2	1	1	4
	II° 房室ブロック											2	7		2	7	9
	III° 房室ブロック																
	房室解離																
	右脚ブロック							1			5	2	2	6	2	2	10
	左脚ブロック (LBBB)																
	PQ短縮 (WPW等)											12	19		12	19	31
	QT延長							1	1		4	16		5	17		22
	異常Q波				1										1		1
	ST・Tの異常											2	8		2	8	10
	上室性期外収縮 (①単源性)											4	10		4	10	14
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)							1			1	2		2	2		4
	心室性期外収縮 (①単源性)				1			1			19	91		21	91		112
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)										2	5		2	5		7
上室性頻拍症 (SVT)											3	1		3	1	4	
心室性頻拍症 (VT)												3			3	3	
その他の心電図異常											1	8		1	8	9	
心音図異常											1			1		1	
心電図・心音図異常 小計②				1	2		1	5	1	6	55	180	8	62	181	251	
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)	1									12	2	1	12	2	15	
	検診等で異常追跡中										1			1		1	
	心疾患で経過観察中																
	その他																
既往異常 小計③	1										13	2	1	13	2	16	
家 族 歴					1						2	3		3	3	6	
総 計 A (①+②+③)	3	1		11	6		10	6	1	54	120	201	78	133	202	413	
重複所見調整 B				2	2		2	3		9	16	24	13	21	24	58	
要管理者実人数 (A-B)	3	1		9	4		8	3	1	45	104	177	65	112	178	355	
管理区分別合計		4			13			12			326			355			

## 高等学校1年生

注) 管理区分の「A」「B」に該当する生徒の報告はありませんでした。

管理区分	項目	C			D			E 禁			E 可			小計			合計	
		既往 術後	往未	新規	既往 術後	往未	新規	既往 術後	往未	新規	既往 術後	往未	新規	既往 術後	往未	新規		
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)										2	1	1	2	1	1	4	
	心室中隔欠損症 (VSD)										7	12		7	12		19	
	動脈管開存症 (PDA)										1			1			1	
	ファロー四徴症 (TF)							2			2			4			4	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)										1			1			1	
	その他の先天性心疾患				3					1	3	8	1	6	9	1	16	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)			1								3	2		3	3	6	
	心筋症-①肥大型 (HCM)					1						1	1		2	1	3	
	心筋症-②拡張型 (DCM)																	
	川崎病後遺症									1					3		3	
	その他の器質異常													2	4	4	10	
	器質異常 小計①			1	3	1		2	2		18	31	9	23	34	10	67	
	心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位										1	1		1	1		2
左軸偏位											1		1	1		1	2	
P波の異常												1	2		1	2	3	
右心室肥大 (RVH)								1					2	1		2	3	
左心室肥大 (LVH)													3			3	3	
洞房ブロック																		
I° 房室ブロック							1					2	3		2	4	6	
II° 房室ブロック							3					2	7		2	10	12	
III° 房室ブロック									2			3			5		5	
房室解離													4			4	4	
右脚ブロック												3	2	7	3	2	7	12
左脚ブロック (LBBB)																		
PQ短縮 (WPW等)							1						7	9		7	10	17
QT延長														2			2	2
異常Q波						1								3		1	3	4
ST・Tの異常						1	1				1	1	13	1	2	14	17	
上室性期外収縮 (①単源性)				1									4	19		4	20	24
上室性期外収縮 (②多源性・連発等)													2			2		2
心室性期外収縮 (①単源性)							1			1		16	42		16	44	60	
心室性期外収縮 (②多源性・連発等)						1	1			1		1	2		2	4	6	
上室性頻拍症 (SVT)						1						1	1		1	2	3	
心室性頻拍症 (VT)																		
その他の心電図異常											1	3	6	1	3	6	10	
心音図異常												1	1		1	1	2	
心電図・心音図異常 小計②			1	3	9	1	2	2		7	47	127	8	52	139	199		
既 往 異 常	川崎病 (MCLS) ※							1				4			5		5	
	検診等で異常追跡中												1				1	
	心疾患で経過観察中																	
	その他																	
既往異常 小計③								1							6		6	
家 族 歴												1	2		1	2	3	
総 計 A (①+②+③)			2	3	4	9	3	5	2	25	84	138	31	93	151	275		
重複所見調整 B			1		2	4	1	1	1	8	15	25	9	18	31	58		
要管理者実人数 (A-B)			1	3	2	5	2	4	1	17	69	113	22	75	120	217		
管理区分別合計			1		10			7				199		217				

参 考

小学校4年生

小学4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下すべての小学4年生の検診結果を示すものではありませんのでご注意ください。

注) 管理区分の「A」「B」に該当する生徒の報告はありませんでした。

管理区分	項目	C			D			E 禁			E 可			小 計			合計
		既術後	往未	新規	既術後	往未	新規	既術後	往未	新規	既術後	往未	新規	既術後	往未	新規	
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)								1	8	3		8	3	1	12	
	心室中隔欠損症 (VSD)									18	29	1	18	29	1	48	
	動脈管開存症 (PDA)									1			1			1	
	ファロー四徴症 (TF)									4			4			4	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)									2	8		2	8		10	
	その他の先天性心疾患	1	1		3			1	1		9	9		14	11		25
	僧帽弁逸脱症 (MVP)										3	1		3	1		4
	心筋症-①肥大型 (HCM)					1								1			1
	心筋症-②拡張型 (DCM)									1						1	1
	川崎病後遺症		1											1			1
	その他の器質異常								1		4	1		5	1		6
	器質異常 小計①	1	2		3	1		1	2	2	42	56	3	47	61	5	113
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位	1											1			1	
	左軸偏位											1			1	1	
	P波の異常											1			1	1	
	右心室肥大 (RVH)				1							1	1		1	2	
	左心室肥大 (LVH)										1	3		1	3	4	
	洞房ブロック																
	I° 房室ブロック											1			1	1	
	II° 房室ブロック											3	3		3	3	6
	III° 房室ブロック																
	房室解離																
	右脚ブロック	1									5	1	2	6	1	2	9
	左脚ブロック (LBBB)												1			1	1
	PQ短縮 (WPW等)											15	14		15	14	29
	QT延長					1						3	8		4	8	12
	異常Q波																
	ST・Tの異常	1			1	1							1	2	1	1	4
	上室性期外収縮 (①単源性)											4	2		4	2	6
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)												1			1	1
	心室性期外収縮 (①単源性)								1	2		21	47		22	49	71
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)											4	4		4	4	8
上室性頻拍症 (SVT)											2	1		2	1	3	
心室性頻拍症 (VT)						1			1					1	2	3	
その他の心電図異常												5			5	5	
心音図異常																	
心電図・心音図異常 小計②	3			2	2	1		1	3	5	55	96	10	58	100	168	
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)								1		1	29		1	30		31
	検診等で異常追跡中												1	2		3	
	心疾患で経過観察中												1	2		3	
	その他																
既往異常 小計③								1		2	31		2	32		34	
家 族 歴																	
総 計 A (①+②+③)		4	2		5	3	1	1	4	5	49	142	99	59	151	105	315
重複所見調整 B		3			2	1				1	9	13	9	14	14	10	38
要管理者実人数 (A-B)		1	2		3	2	1	1	4	4	40	129	90	45	137	95	277
管理区分別合計		3			6			9			259			277			